

外国語活動指導案

目指す基本目標	
異文化理解	
コミュニケーション能力・表現力	
トピック	買い物をしよう

日 時 平成21年9月4日(金)

学校名 網走市立南小学校

児 童 5年1組 男子17名 女子14名 計31名

授業者 高田 佳奈(HRT)、ラヤソン・シェイン (ALT)

1 単元名

買い物をしよう(関連:英語ノート1 Lesson5 いろいろな国の衣装を知ろう)

2 単元設定について

網走市立南小学校では、昨年度まで全学年年間8時間程度の英会話を行ってきた。今年度から5年生と6年生では、年間35時間の外国語活動を行っている。35時間のうち、担任のみの授業が半分、残りはALTとのチーム・ティーチングによる授業である。指導計画は、担任とALTで3か月に一回打ち合わせを行い、少しずつ作成しているところである。

買い物活動は、客と店員という立場がはっきりとしているため、コミュニケーションをとる必然性が高い。そのため、子どもたち同士がすすんでコミュニケーションをとれるのではないかと考えた。

(1)児童の実態

国語のスピーチや発表など、原稿があり言うことが決まっている場合には、全員が全体の場で発表することができる。しかし、自分の考えを求める時には、自信がなく、なかなか発表することができない児童が多い。グループの中では、自分の考えを少しずつ言えるようになってきている。また、聞くことに関しては、内容を理解しながら聞くことができる児童が半数程度なので、まだまだ指導が必要である。

外国語活動の授業においては、手を挙げて発表できる児童は数名であるが、活動の中では友達やALTと1対1でコミュニケーションをとるのが楽しいようである。間違いを恐れず、「伝わればいいよ」と声をかけている。

(2)素材の工夫

今回は、英語ノートのLesson5に出てくる買い物表現を、より目的意識・相手意識がはっきりとするように食べ物の材料を買う活動に作りかえた。客の立場でも店員の立場でも、子どもたちがすすんでコミュニケーションをとりたいと思えるような授業を目指していく。

(3)学習の形態・方法

店を作りやすくするために、多目的ホールで行う。最初に全体で語彙の確認をした後、小グループに分かれ、店員と客になる。時間が来たら交代する。

(4)期待する子どもの意識・行動

いつも学級で一緒に過ごしている友達とコミュニケーションをとろうとするのは、外国語活動ならではの考え。また、ALTの先生にもグループの一員として活動に加わって頂くことで、よりコミュニケーションをとろうという意識ができるであろう。また、外国での買い物という異文化にも触れることができる。

3 国際理解教育に関わる視点

仮説2に関わって

言葉を使う活動を通し、互いを尊重する態度を育てることで、進んでコミュニケーションを図ろうとする子どもが育つだろう。

学級の実態として、女子と男子が別々に遊ぶようになってきていたり、グループを作って行動していたり、なかなかグループに入れない子が出てきたりしている。この単元を通して、学級で普段は話さない子とも楽しくコミュニケーションをとれるようにし、みんなで協力しなければならないような活動をなるべく多く取り入れていきたいと考えている。

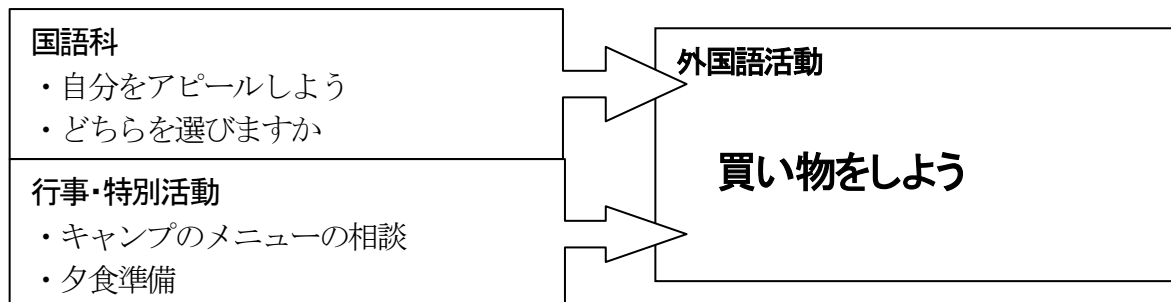
本時では、店員の立場でも客の立場でも楽しくコミュニケーションを取れるような活動を取り入れた。店員は「完売させたい」、客は「材料を集めたい」という意識を持つことで、すすんで英語を使って話すだろうと考える。グループの活動では、子ども同士の支え合い、励まし合いの中から、今まであまり話したことのない児童とも話し、新たな発見をすることから互いを認め合う態度を育てていきたい。また、完売した時や材料がそろった時の達成感を味わわせていきたい。

また、日頃から間違いを恐れずに発言でき、お互いを認め合うことができる雰囲気作りに努めてきた。その結果、自分の考えを少しずつ声に出せる子どもたちが増えてきた。本時でも、うまくいった時にはほめ、まちがった時には励ましの声をかけることで、さらに自信を持たせていきたい。

4 単元の目標

目標の観点	具体的な子ども像	単元における目標
言語・文化への体験的理解	○世界中の言語や文化はたくさんあることに気づき、体験を通してそれを理解し受け入れることができる子ども ○世界には民族や文化の違う様々な人がいて、それぞれ感じ方や考え方が違うことに気づき、互いに尊重しようとする子ども	・外国のお店や買い物の仕方に興味をもつ。 ・チラシを見たり、ALT の話を聞いたりして、日本と外国の共通点や相違点に気づく。
積極的なコミュニケーションへの態度	○人とかかわりを楽しみながら、相手に聞かれたことに対してよく聞こうとしたり理解したりしようとする子ども ○自分の思いや考えを、知っている言葉や身振りなどを使って積極的に相手に伝えようとしている子ども	・友達やALT と楽しそうに取り組む。 ・借金とりゲームや買い物の場面で、相手の方を見て会話しようとする。 ・買い物の場面で、いろいろな相手と積極的に関わろうとする。
外国語の音声や表現への慣れ親しみ	○外国語の音声やリズムなどに親しみ、積極的に声に出したり聞いたりしてみようとする子ども ○間違いや失敗を恐れずに、自分なりの基本的な言葉を使って表現しようとする子ども	・食べ物の名前のチャンツでは、リズムを楽しんで取り組む。 ・食べ物の名前や買い物に使う表現を聞いたり言ったりしながら覚えようとする。 ・買い物の場面で、自分なりの言葉で商品を売ったり買ったりする。

5 他教科・領域との関連



6 単元の指導計画

時間	主な学習内容
1	<p>外国の文化に触れよう (ALT とのチーム・ティーチング)</p> <p>3チームに分ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国の名前を知り、何度も言って慣れ親しむ。 (America, France, Italy, Australia, Egypt, Japan, Korea, China, Canada) <p>LEVEL1 国旗を見て、どこの国か予想する。グループの先頭から1人ずつ当てる。チャンスは3回で、間違えてもパスしてもよい。3回以内に当たれば5ポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各国の食べ物、飲み物のカードを見て、どこの国の食べ物、飲み物なのかを予想する。 <p>LEVEL2&3 食べ物や飲み物のカードを見て、どこの国のものかを予想する。食べ物は2回、飲み物は1回で次のグループに移る。当たれば5ポイント。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黒板に貼ってあるカードの裏に、-5、0、+5、+10、★を書く。 <p>LEVEL4 I want to drink/eat/go to ____と答えたカードの裏に書いてあるポイントが入る。★は2倍になる。わからなければ、How do you say ____ in English?と聞く。</p>
2	<p>材料の名前を知ろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食べ物の名前の英語での言い方を知り、慣れ親しむ。(はえたたきゲーム) ・値段のたずね方を知り、慣れ親しむ。 <p>借金とりゲーム</p> <p>グループになり、トランプで借金とりゲームをする。</p> <p>①最初に5枚ずつ配る。</p> <p>②自分の番になったら、山札から一枚引く。周りの子たちは“How much?”と聞き、カードを引いた子は、値段を答える。</p> <p style="text-align: center;">・1~10 1ドル ・絵札 (J,Q,K) 5ドル ・A 10ドル</p> <p>言われた値段と同じ金額のカードを渡す。“Here you are.” “Thank you.”</p>
3	<p>値段のたずね方を確認しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単語の確認 (本時で使用する食べ物の単語)、チャンツ ・値段のたずね方を確認する。 ・外国のチラシや新聞を見て、外国と日本の店や文化の共通点や相違点を見つける。

	<p>JUST 10ドルゲーム</p> <p>店員 “Hello.”</p> <p>客 “Hello. ____, please.”</p> <p>店員 “OK.”</p> <p>客 “How much?”</p> <p>店員 “__ dollars.”</p> <p>客 “Here you are.”</p> <p>店員 “Thank you. Here you are.”</p> <p>客 “Thank you.”</p> <p>商品の値段は、1ドルから5ドルまでで決める。10ドルを超えてしまったら座る。時間が来たら店員と客を交代する。</p>
4	(本時) 買い物をしよう

7 本時の学習

(1) 観点別の目標と評価

目標の観点	本時の目標と評価
言語・文化への体験的理解	・外国のお店や買い物の仕方に興味を持つ。
積極的なコミュニケーションへの態度	・友達やALTと楽しそうに取り組み、いろいろな相手と積極的に関わろうとする。
外国語の音声や表現への慣れ親しみ	・自分が知っている単語や表現を使って、商品を買ったり売ったりしようとする。

(2) 本時の活動

過程	児童の活動	教師の支援・留意点 (◆評価規準)
Greeting	・あいさつ	
Warm-up	<ul style="list-style-type: none"> ・ウォーミングアップ 天気、日付 ・シェイン先生の話聞いて、外国での買い物に興味を持つ。 	<p>ALTがメインで進める。</p> <p>ALTにカナダの店や買い物について話をしてもらう。</p> <p>◆言語・文化への体験的理解 やりとりを興味深そうに聞いている。</p>
Practice	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物につかう単語を知る。 ・買い物につかう表現を確認する。 	<p>1～5の数も確認する。</p> <p>HRTとALTでスキットを行う。</p>
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; display: inline-block; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>買い物をしよう</p> </div>		

<p>Activity</p>	<p>・店員と客に分かれ、買い物をする。</p> <p>A 客 →自分たちが集める材料を知る。日本語カードを机に並べ、誰がどの材料を買いに行くのか相談をする。お金を受けとる。</p> <p>B 店員→自分たちの店に並べる商品を受け取り、並べる。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>A:Hello! B:Hello! A:____,please. B:OK. A:How much? B:____ dollars. A:Here you are. B:Thank you. Here you are. A:Thank you.</p> </div> <p>店員</p> <p>商品の値段を1ドルから5ドルの中で好きな値段にすることができる。完売したら</p> <div style="text-align: center;"> <p>Sold out!</p> <p>ハイタッチをする。</p> </div> <p>客</p> <p>自分たちが作るメニューに必要な材料を10種類集める買った商品は、日本語カードと一緒にホワイトボードに貼っていく。全部集められたら</p> <div style="text-align: center;"> <p>Let's eat!</p> <p>ハイタッチをする。</p> </div>	<p>ALT は、グループの一員として活動に参加する。</p> <p>10分たったら店員と客を交代する。</p> <p>◆積極的なコミュニケーションへの態度 普段あまり話したことのない相手とも楽しそうにやりとりしようとする。</p> <p>◆外国語の音声や表現への慣れ親しみ 自分が知っている単語や表現を使って商品を売ったり買ったりしようとする。</p>
<p>Consolidation</p>	<p>・本時を振り返る。</p> <p>・感想を発表する。</p> <p>・あいさつ</p>	<p>メニューが完成したグループを紹介する。</p> <p>ALT も感想を述べる</p>

8 使用する英語

○Curry and rice

Onion, carrot, potato, beef, curry powder, rice, oil, green peas, apple, honey

○Pizza

Flour, cheese, garlic, bacon, corn, green pepper, meat sauce, tomato, sausage, mushroom

お店の商品リスト

- A: 牛肉、米、チーズ、ベーコン、トマト
- B: 牛肉、グリーンピース、はちみつ、にんにく、ソーセージ
- C: 玉ねぎ、カレールー、はちみつ、ピーマン、ミートソース
- D: 玉ねぎ、油、りんご、コーン、マッシュルーム
- E: にんじん、カレールー、小麦粉、にんにく、ソーセージ
- F: にんじん、油、チーズ、ピーマン、マッシュルーム
- G: ジャがいも、米、りんご、ベーコン、ミートソース
- H: ジャがいも、グリーンピース、小麦粉、コーン、トマト

ホワイトボードに商品
と日本語カードを並べ
て貼っていく。

